



千葉労働新聞

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

91.4.12 No. 3380

市議選本番あさって14日告示 全組合員の力をこの10日間に結集しよう

統一地方選・中江選挙闘争は、のこすところ一〇日、「決戦」の終盤に突入しました。

連日全支部、全組合員は、船橋へ、前原へと結集し、市内一帯を席卷し、中江票獲得に猛然と立ちあがっています。

県議選での社会党の大敗北に恨しさと怒りを倍加させている多くの良心的市民労働者は、逆風を吹きとばす勢いで、連日立ちあがっている。動労千葉の奮闘に触発され、街頭での声援はもとより、選対事務所には、連日、日通や全通の仲間を先頭に、支援労組、住民が駆けつけ、共に絶対勝利にむけてのたかきを一挙に強めています。

統一地方選前半で明らかになったことは、得票数で見ても、人民大衆が決して自民党政治を「良し」と見ていないことを立証しています。しかし、一方、湾岸戦争で、侵略者アメリカ、帝国主義を弾劾しきれず、闘いきれなかった社会党をはじめとする「革新」に、「無力感」をつのらせ、四分五裂の状態を許し、多くの棄権を生み出してしまいました。

この前半戦の厳しい現実を真正面から見すえ、大反動を突き破る「決戦」こそ、四・二一、市議選・中江選挙闘争です。

何度も確認すべきことは、中江選挙闘争は、「動労千葉の中江」を問う、組織攻防の一環をなすものです。

敵、JR・JR総連革マルは、中江の敗北をこい願っています。この一点を考え、絶対勝利あるのみです。

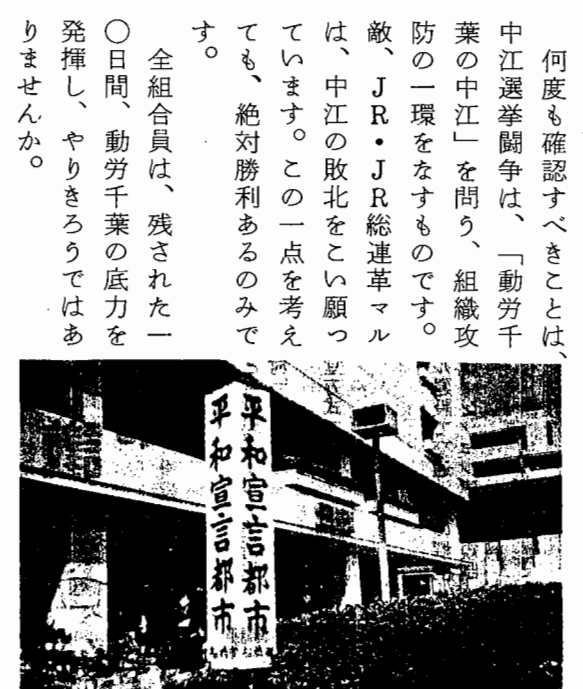
全組合員は、残された一〇日間、動労千葉の底力を発揮し、やりきろうではありませんか。

「以前女性議員を出すためにたいへんお世話になりました。今もパートの女性のために退職金条例の制定で骨を折っておられます。中江さんを心から応援します。」(2・28事務所びらきで)

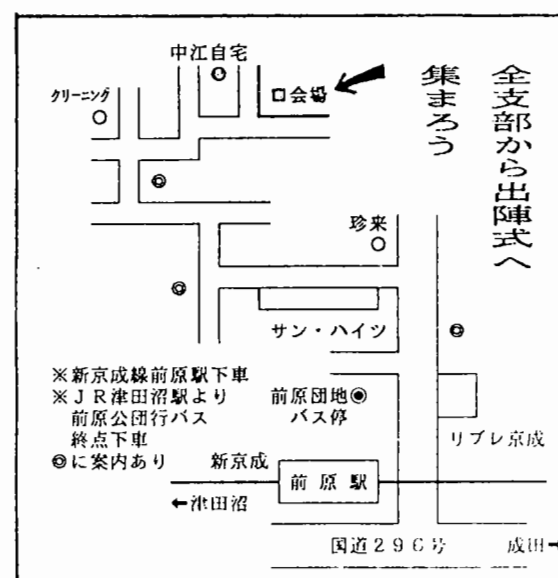
土屋 さく(日本婦人会議千葉 県本部議長)

松本 正二(前県議会議員)

「船橋市の下水道の普及率は約25%で千葉県(40%)や東京都(86%)に大きくおくれをとっております。一日も早く整備します。ロマンと活力のある県政めざしとにもがんばります。」



▲市民とともに実現した「反核平和 宣官都市」(船橋駅南口の宣官塔)



明日一三日(土) 総行動日

前原の中江事務所に
全力で結集しよう!

組合員の連日の決起が原動力となつて、今、前原の選対事務所には、全通や日通の仲間をはじめ多くの支援者、支援労組の仲間が連日結集しています。

動労水戸の仲間たちも明けや公休、年休をとって交代で選対に駆けつけ、動労千葉組合員と一身体で大奮闘中です。

一日には、全通の青年部員二名(二名とも一)

日通、全通の仲間をはじめ
続々々々々 応援に

九才(が)仕事終了後応援に駆けつけてくれました。二人は、異口同音に「はじめの経験で最初はとまどいもあつたけど、やりきつてみて、俺にも出来るという自信がもてた。親や職場の先輩にも話します」と、目を輝かせて帰っていったのが印象的でした。

あと十日間、みんなの力を合わせ、一票一票を積み重ねよう。